



小学校高学年向け 年 組

市町、事業者交え協議会 県、来月までに設立

県内路線別の第4種踏切道の数と所在地

JR日光線	6カ所	※
わたらせ 溪谷鉄道	4カ所	日光市足尾町
JR烏山線	3カ所	※
JR両毛線	1カ所	足利市通2丁目
真岡鉄道	1カ所	茂木町茂木
※JR東日本大宮支社は所在地を明らかにしていない。東武鉄道と野岩鉄道は該当なし		

鉄道各社によると、県内には4種踏切がJR日光線や同烏山線、同両毛線、わたらせ溪谷鉄道、真岡鉄道に計15カ所ある。県によると、踏切関係ではこれまで国や県、市町、鉄道事業者などが「県踏切道改良協議会合同会議」を設立し、道路の拡幅に伴う踏切の改良や立体化などを話し合ってきた。新たに立ち上げる予定の協議会では、4種踏切の対策に特化し議論する考えという。

国は鉄道事業者に対し4種踏切の解消を促しているが、生活道などとして利用する住民への配慮や解消費用の負担などで足踏み状態が続いている。県は対策を前に進め早期の解消を目指すとして、協議会の新設を決めた。

4種踏切のある市町などのほか、協議会にはオブザ

群馬県高崎市の踏切で4月、小学4年の女児（9）が電車にはねられ死亡した事故を受け、栃木県が遮断機や警報機がない「第4種踏切」の解消に向けた協議会を設立する方針を固めたことが2日までに、分かった。関係市町や鉄道事業者を交えた協議会で、6月上旬までに立ち上げる。4種踏切を巡っては国が危険性を指摘し解消を呼びかけているが、地域住民の利便性や費用負担の面から、廃止にはつながっていない。県は対策に向け、住民へのヒアリングなども検討している。

（三谷千春）

「4種踏切」早期解消へ

2024年5月3日付・下野新聞1面

「バー」として国土交通省の参加を見込む。利用実態を把握するなどして4種踏切

の廃止や、遮断機や警報機がある第1種への転換などの取り組みを協議する。県内では2018年7月、足利市内のJR両毛線の4種踏切で、自転車を押していた高齢者がはねられ死亡する事故があった。県交通政策課は「群馬県の事故はひとつではない。まずは（協議会を）利用頻度など実態の洗い出しと問題意識の共有を図る場にした」としている。

高崎市での事故を受け、群馬県は4種踏切の廃止といたった対策を、原則2029年度末までに完了させる方針を示している。対象は県内74カ所に上る。

設 問

【1】大見出しの「4種踏切」とは何でしょうか。また、遮断機や警報器がある踏切は、何と呼ばれるでしょうか。

【2】なぜ危険な踏切がなくなるのでしょうか。記事本文から理由を二つ挙げましょう。

【3】4種踏切を解消するためには、どのようなことが必要でしょうか。【2】の理由から考えてみましょう。

【4】今回話題にはなっていない、2種や3種の踏切はどのような踏切でしょうか。1人1台、端末を活用して自分で調べてみましょう。その際「～踏切」という文末でまとめましょう。